



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 35 No. 2425

2012-2013年度国際ロータリーのテーマ



例会場／士別グランドホテル

例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234

会長／尾崎 学 副会長／千葉繁夫

幹事／泉谷 勇



士別市立「あいの実保育園」と士別R-1が創立50周年記念事業に寄贈した遊具

2012-2013年度士別ロータリーのテーマ

奉仕の心を大切に 平和の絆を広げよう

第2507回例会 2013年4月22日(月)

今日のプログラム

・夜間例会（移動例会＝ファームレストラン μ）

前回（4月15日）の記録 ・普通例会 ・会員卓話

司 会 坂口芳一会場監督

斉 唱 奉仕の理想

本日の出席 出席率 会員50人 出席42人 出席率84%

本日の欠席 加藤 博、鈴木 勉、野 英俊、近藤峯世、高山 稔、深尾幸夫、鷺田勝夫、

メイクアップ

ビジター・ゲスト 藪中重和ガバナー補佐

ニコニコBOX 片庭隆暁（士別西小学校PTA会長就任）

累計 292,000円

例会予定

■ 4月例会日 【ロータリー雑誌月間】

- 4月1日(月) 例会・理事会
- 4月8日(月) 例会
- 4月15日(月) 例会
- 4月22日(月) 夜間例会（移動例会）
- 4月29日(月) 休会（法定休日・昭和の日）

■ 5月例会日 【ボランティア月間】

- 5月6日(月) 休会・（法定休日）
- 5月13日(月) 例会・理事会
- 5月20日(月) 例会
- 5月27日(月) 夜間例会

■会務報告

……尾崎 学会長

●当士別ロータリークラブ会員、田中全会員が4月11日にご逝去されました。13日・14日にお通や、告別式が行なわれ、会員皆さまと一緒に参列して参りました。昨年より体調を崩され入院加療中で、一年近く例会には出席されず心配を致しておりました。田中会員は1987年7月入会、以来今日まで、26年間ロータリーの発展と地域社会への奉仕活動に邁進されました。その間、多くの役職を歴任され、1999年度会長として活躍されました。また奥様からご子息の道也氏にロータリークラブ入会のお話を頂いており後日話を進めたいと思います。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

●11日、第5回(新・旧)クラブ協議会を開催致しました。委員長の出席を頂き、各委員会の事業報告をいただき次年度への引継ぎをさせて頂きました。この後PETSの予定があり、新委員長の皆さんの活躍を期待致します。

●先週の例会で報告致しました、新入会員の件ですが理事会に於いて正式に入会の承認を頂きましたので、改めてお知らせ致します。北部ガスセンター・専務理事、穴田俊昭氏と日本生命、二井内亮太氏であります。正式の入会式を5月13日に行ないたいと思います。

■幹事報告

泉谷 勇幹事

①来週22日の夜間例会は移動例会です、レストランμで午後6時より開催いたします。グランドホテル前に5:30からバスをご用意いたしますので、どうぞ宜しくお願い致します。

②ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま157」来ております。

③国際ロータリー2510地区より、第23回日本ロータリークラブ親睦ゴルフ北海道大会の案内が来ております、日時は6月17日(月)恵庭カントリークラブとなっております、参加予定のメンバーがおられましたら幹事までご連絡下さい。締め切りは5月14日(火)までとなっております。

■次年度幹事報告

奈良康弘次年度幹事

①2013・2014年度の会長エレクト研修セミナー・地区協議会が今週末20日・21日、土日2日間の日程にて釧路市にて開催されます。

20日、土曜日開催のPETS出席者につきましては19日4名での出発、21日、日曜日開催の地区協議会出席者につきましては20日9名での出発の日程となっております、総勢13名での出席となっております。

既に日程等につきましてクラブ協議会の際に御案内いたしております。

出発時間等、お間違えの無い様お集まり下さい。宜しく御願い致します。

■ビジター：藪中重和ガバナー補佐あいさつ

田中会員の死去に際しましてはお悔やみ申し上げ

げます。

先日の第2500会例会にはお招きありがとうございます。6月末で役割を終えます。お世話になりました。

今後とも機会がありましたら、お付き合いの程、よろしくお願ひします。

■新入会員卓話

…片庭隆暁会員

何を話しても良いとのことで、趣味について触れさせていただきます。

趣味は色々ありますが、その中でおそらく知られていないと思われる趣味について話をしたいと思います。

私の趣味の中でもっともお金のかかる趣味といえば、絵を買うことです。「なぜ絵を買うのか」というと、私の父の影響があるかと思ひます。父は自分でも絵を書き、子どもの頃からまわりにたくさん絵がありました。部屋中に絵が飾られていました。

絵が好きでただ見ているだけなら害もないのですが、20代の後半に絵を買ってしまったわけです。踏み込んではいけないようなところに踏み込んでしまったなあという意識が現在もあります。

油絵など買うと、それなりの金額がします。安くみても30万円ぐらいします。買える範囲でも70~80万円します。簡単に手を出せるものでもありません。

ただですね。絵というのは見てしまうと、欲しくなっちゃうところがありまして、お金の有る無しに関係なく、これはと思うとお金が無くても思わず行ってしまふような、そんな魅力を秘めています。

絵の中でも油絵、水彩画、鉛筆によるデッサンなどがありますが、その中では油絵が高いです。買った絵というのは無価値になるというのではなく、一定の評価を受けている画家の作品ですと、不用になっても同じ画廊などに持っていくと50万円引き取ってくれたりします。転売可能ですが、水彩画、鉛筆によるデッサンなどはなかなか売ることができない場合もあります。

なぜ絵を買うのかということ、絵の善し悪しは自分で買ってみたいとわからないとよく言われます。私もその通りだと思います。いい絵だと壁に何年飾ろうと見飽きることはありません。ダメな絵だと3~4カ月で飽きてきます。結局、その繰り返しですね。繰り返していくうちに、自分の中に絵の善し悪しが見えてきて、だんだん面白くなってきます。

ただ私も結婚し、小さな子どもも2人おりますし、そう簡単に買うこともできないので気をつけるようにしています。売っている絵は金額的に高いのは最初から見に行かないと使い分けながら、やっています。一度足を踏み入るとなかなか抜け出せないで、簡単にはお勧めできない趣味ではないです。